

編集後記

前号から出来るだけ早く原稿を投稿して頂くために始めた原稿募集の掲示を半月月早める方法は、前号に続いて本号も成果があったようで、予定通りに雑誌が出来上がりそうです。今後ともこの調子で行って呉れば良いかと願っています。執筆者の皆様には、今後とも早めに、締切日を過ぎることなくご投稿下さるようお願い致します。

去る6月13日に開催された松本歯科大学学会総会において、大幅な役員の交代が行われました。編集幹事も、甘利光治、近藤武、高橋重雄、安田英一幹事が庶務あるいは会計幹事として転出し、新たに中村武、井上勝博、太田紀雄、広瀬伊佐男幹事が編集幹事となりました。編集主任には井上勝博幹事が予定されていますが、本学会に入会して間もないことなどの理由から、当分の間編集主任は据え置きとなりました。また、この総会で投稿規程12が改定されましたが、その詳細は本号巻末に掲載されてある新しい投稿規程ならびに第17巻3号の編集後記をご覧ください。

2～3年前から塩尻でも真夏の温度が連日30度を越すようになってきました。今年の夏はとくに猛暑が続くようで、夏休み中自宅でも昼間はクーラーを入れましたが、このような暑さは一昨年まで無かったような気がします。地球温暖化の影響が塩尻でも見られるようになったのかも知れません。先日のテレビ番組によると、2～3年前にはごく僅かだった国内のエイズ感染者の数はこのところ急増し、感染者数は公にされない人々も加えれば2万人に達しているだろうとのこと。昨年バブル経済の崩壊の後、多くの金融機関が不良債権化した土地や株を大量に抱える破目になり、金融が滞って日本経済が不況化しつつあるようです。昨年は、湾岸戦争、ソビエト連邦の崩壊、バブル経済の崩壊など激動の一年でしたが、今年も数多くの深刻な問題が起きるのではないかと心配です。松本歯学の発行に悪い影響がある事件などあまり起きないで欲しいものです。（野村 浩道）

松 本 歯 学 第18巻 第2号 (非売品)

1992年 8月25日 印刷 1992年 8月31日 発行

編集兼発行者 小 林 茂 夫

発 行 所 松本歯科大学学会

399-07 塩尻市広丘郷原1780 電話 0263-52-3100

印 刷 所 電算印刷株式会社

390 松本市筑摩3270 電話 0263-25-4329
